

設問11	キャリア教育	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	15	10	18	5	19	67
			29	21	6	1	10	67
	高評価が増えました。学期末に通知表と共に保護者へ渡していきます。お便りで意義を伝えていきます。							
設問12	環境整備	学校は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。	18	30	4	2	13	67
			24	24	1	3	15	67
	評価1、2の総数は前回と大きく変わりありません。清掃活動については、各学年ほぼ単級と児童生徒が少ない実態の中で、学校全体を分担して協力的に清掃活動していますが、階段等、整わない場所があることも事実です。委員会や職員で対応することも考えていきます。							
設問13	情報提供	学校は保護者に対して、適切に情報を提供している。 (学校だより・学年だより・HPなど)	27	31	4	3	1	66
			36	22	5	2	2	67
	高評価を保てるよう、授業の様子や行事の様子をお便り・HPで継続して伝えていきます。							
設問14	特別支援教育	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	33	21	1	0	11	66
			35	18	3	1	10	67
	高評価79% 低評価5%であり、概ね高評価です。ただし「分からない(評価5)」とした10という数は無視はできませんので、来年度は知的固定学級開設の年であるため、より保護者に対する理解啓発を推進していきます。							
設問15	人権教育	学校では、教師自らが人権感覚を身につけ、自他を尊重した言葉遣いや適切な表現ができるよう指導が行われている。	19	25	4	6	12	66
			19	22	6	2	18	67
	職員室や教室等で、児童名に敬称をつけた呼び方が目立つようになってきたように思います。教員の中に人権の意識が高まって来ていると感じています。							
設問16	学習端末の活用	学校は、児童・生徒の情報活用能力を育むために1人1台学習端末を活用した授業が行われている。	35	20	1	3	7	66
			43	17	3	0	4	67
	約9割の肯定的な意見を得られました。引き続き、学習用端末を活用した授業を展開していきます。							
設問17	特色ある学校づくり	学校では、小中一体化に向け、体育祭が工夫して行われた。 (2学期には学習発表会合唱の部、学習発表会総合発表の部を予定しています。)	34	23	1	2	6	66
			38	20	3	0	4	65
	9割以上肯定的な意見を得られました。今年度から小中一体の行事となり、来年度以降も、小中一体化に向け、工夫して行っていきます。							
自由記述に対して								
行事について変更があった場合は、速やかに連絡するようにします。 配布文書のペーパーレス化についてですが、実態として、マチコミ・H&Sに登録していない方がおり、また配信した学級では既読率が50%という報告も上がっております。全家庭の登録及びペーパーレス化を進めつつ、児童・生徒と読み合わせがしたいお便りなど紙での配布が効果的なものは継続して紙で配布をしていきます。 一部の教員が、頻繁に怒鳴ったり生徒に対して威圧的であるとご指摘をいただきましたので、日頃から言葉遣いや表現を意識し、教職員でお互いに気を付けていくようにします。また、丁寧な言葉がけを心がけてまいります。 新1年生のサポートについてですが、次の入学式以降は、下駄箱から教室に誘導する6年児童を設定します。また、入学から2週程度は、教員が分担して各方面への下校見守りを実施しております。 携帯電話の使用についてですが、スマホは家庭との連絡以外で使用しないこと、交通事故につながる危険性があることを再度児童生徒に指導していきます。また、PTAとも連携していきます。 来年度の合唱祭はホールでの開催を目指しています。 放課後の児童の管理については学童へ伝えておきます。 文化行事についてですが、教育課程において八王子市では週時数が現在28時間、令和7年度からは27時間となります(基本時数は29時間)授業に加え、学芸会などの練習に使う時数は現在の教育課程では確保できない状況になっています。そのような理由から、学習発表会の形式をとっているため、今後元に戻すことはできないと考えています。 次年度以降の部活動についてですが、事前に説明してる通り、部活動改革により令和9年度には体育館の総合スポーツ部としてバドミントン部、バスケットボール部を統合します。 学校の送迎については、駐車する場合には第2グラウンドの保護者用駐車場を利用してもらい、正門は降ろす場合のみの使用をお願いします。 制服については、今後も中学部のみでの運用としていきます。								

令和6年度（地域・学校関係者）学校評価アンケート集計結果

評価1…とてもはまる 2…ややあてはまる 3…あまりあてはまらない 4…あてはまらない 5…わからない

設問	分掌	項目	内容	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	合計
設問1	教務部	学校経営方針の周知	学校の教育方針「すすんで学び向上できる人 心豊かに共に生きる人 心身を鍛え、いのちを大切に作る人」を知っている。						
			第1回目	5			1		6
			第2回目	4					4
設問2	教務部	特色ある学校づくり	学校が力をいれて行っている取り組みについて知っている。 小学部：滝山たてわり遠足、乗馬体験、老人ホーム訪問など 中学部：スクールファーム、滝山城址見学、企業訪問など						
			第1回目	5			1		6
			第2回目	4					4
設問3	教務部	小中一貫教育	本校が小学部と中学部で行う行事について知っている。（入学式、体育祭など）						
			第1回目	5			1		6
			第2回目	4					4
設問4	生活指導部	安全管理	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、朝の見守りや様々な場面を想定して避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。						
			第1回目	5		1			6
			第2回目	4				1	5
設問5	進路指導部	人権教育	学校は「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。						
			第1回目	3	2		1		6
			第2回目	3		1		1	5
設問6	生活指導部	いじめ防止への対応	学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。						
			第1回目		4		1		5
			第2回目	3	1			1	5
設問7	生活指導部	学級経営	学校は落ち着いて学習できる雰囲気である。						
			第1回目	2	2	2			6
			第2回目	1	2	1	1		5
設問8	生活指導部	生活指導	学校は子どもたちがよりよい学校生活を送れるように取り組んでいる。						
			第1回目	4	1		1		6
			第2回目	3	1			1	5
設問9	進路指導部	キャリア教育	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。						
			第1回目	3	2			1	6
			第2回目	3	1			1	5
設問10	生活指導部	環境整備	学校は学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいる。						
			第1回目	2	3		1		6
			第2回目	3		1		1	5
設問11	教務部	情報提供	学校は地域に対して、適切に情報を提供している。 （学校だより・学年だより・HPなど）						
			第1回目	4	1	1			6
			第2回目	3		1		1	5
設問12	教務部	学校づくり	学校は、地域運営学校として、地域とともにある学校づくりを推進している。						
			第1回目	5		1			6
			第2回目	4				1	5
設問13	支援部	特別支援教育	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。						
			第1回目	5			1		6
			第2回目	4				1	5
設問14	進路部	人権教育	学校では、教師自らが人権感覚を身につけ、自他を尊重した言葉遣いや適切な表現ができるよう指導が行われている。						
			第1回目	3	1	1		1	6
			第2回目	4				1	5
設問15	GIGA部	情報活用	学校は、児童・生徒の情報活用能力を育むために1人1台学習端末を活用した授業が行われている。						
			第1回目	3	1		1		5
			第2回目	4				1	5
設問16	教務部	小中一体化	学校では、小中一体化に向け、体育祭が工夫して行われた。						
			第1回目	5			1		6
			第2回目	4				1	5

自由記述より

- ・挨拶ができる子が少ない。
→児童会・生徒会を中心としたあいさつ運動や、全教職員によるあいさつ、声掛けを積極的に行っています。その結果、徐々にあいさつをする子供たちが増えてきております。
- ・学校の良いところをもっと地域に伝えることが必要。
→学校だより等の配布物やホームページやメール等の配信を活用して広報に努めていきます。
- ・未来塾の教育内容をもっと公開してほしい。
→未来塾通信やホームページ等でお知らせしていますが、より丁寧に伝えていくようにします。
- ・地域とのつながりを考えると、教職員が行事に参加するとありがたい。
→昨年度と比べ、より多くの教職員が地域の行事に参加していますが、より可能な範囲で参加するよう声掛けを行っています。

令和6年度 児童生徒学校評価アンケート集計結果

評価1…あてはまる 2…ややあてはまる 3…あまりあてはまらない 4…あてはまらない 5…わからない

	項目		評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	合計
設問1	学校経営 方針の周知	1) 先生たちは、学校目標「すすんで学び向上できる人 心豊かに共に生きる人 心身を鍛え、いのちを大切に作る人」を伝えていますか。	111	0	0	23	0	134
			168	0	0	23	0	191
設問2	特色ある学校づくり	2) 先生たちは、特色ある取組を行っていますか。 小学部：校内スタンプラリー、乗馬体験、老人ホーム訪問など 中学部：スクールファーム、滝山城址見学、職場体験など	121	0	0	13	0	134
			183	0	0	8	0	191
設問3	小中一貫教育	3) 先生たちは、小学部と中学部で合同で行う取組を行っていますか。 (入学式・体育祭など)	92	31	2	0	9	134
			140	37	6	1	0	184
設問4	安全管理	4) 先生たちは、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、朝の見守りや様々な場面を想定した避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか。	94	32	2	0	6	134
			137	37	6	0	0	180
設問5	人権教育	5) 自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるように、先生たちは指導していますか。	77	40	5	0	12	134
			118	50	7	2	0	177
設問6	いじめ防止 への対応	6) 先生たちは、いじめを起こさせない取組を行ったり、発生した場合に直ちに対応したりするなど、いじめを許さない学校作りに取り組んでいますか。	78	39	5	1	11	134
			123	41	8	2	0	174
設問7	学級経営	7) 先生たちは、落ち着いた学習できる学級作りに取り組んでいますか。	70	49	7	0	8	134
			118	52	6	3	0	179
設問8	学習指導	8) 先生たちは授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（I C T機器）の活用などの工夫に取り組んでいますか。	72	38	3	0	21	134
			117	43	7	1	0	168
設問9	適正な評価	9) 先生たちは、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりするよう指導していますか。	87	35	4	0	8	134
			132	40	5	3	0	180
設問10	生活指導	10) 先生たちは、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についての指導を行っていますか。	72	43	5	0	14	134
			115	47	10	2	0	174
設問11	キャリア教育	11) 先生たちは、学習環境の整備や清掃活動に取り組んでいますか。	73	42	6	0	13	134
			122	48	7	1	0	178
設問12	環境整備	12) 先生たちは、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対する教育）に取り組んでいますか。	63	29	9	0	33	134
			113	44	5	1	0	163
設問13	人権教育	13) 先生たちは人権感覚を身につけ、自他を尊重した言葉遣いや適切な表現ができるよう指導をしていますか。	61	51	8	1	13	134
			111	52	6	2	0	171
設問14	学習端末の 活用	14) 学校は、児童・生徒の情報活用能力を育むために1人1台学習端末を活用した授業が行われている。	79	36	4	1	14	134
			138	34	2	0	0	174
設問15	特色ある 学校づくり	15) 学校は、小中一体化に向け、体育祭を工夫して行っている。（学習発表会合唱の部、学習発表会総合の部は2学期実施予定）	85	29	4	1	14	133
			110	37	5	1	0	153